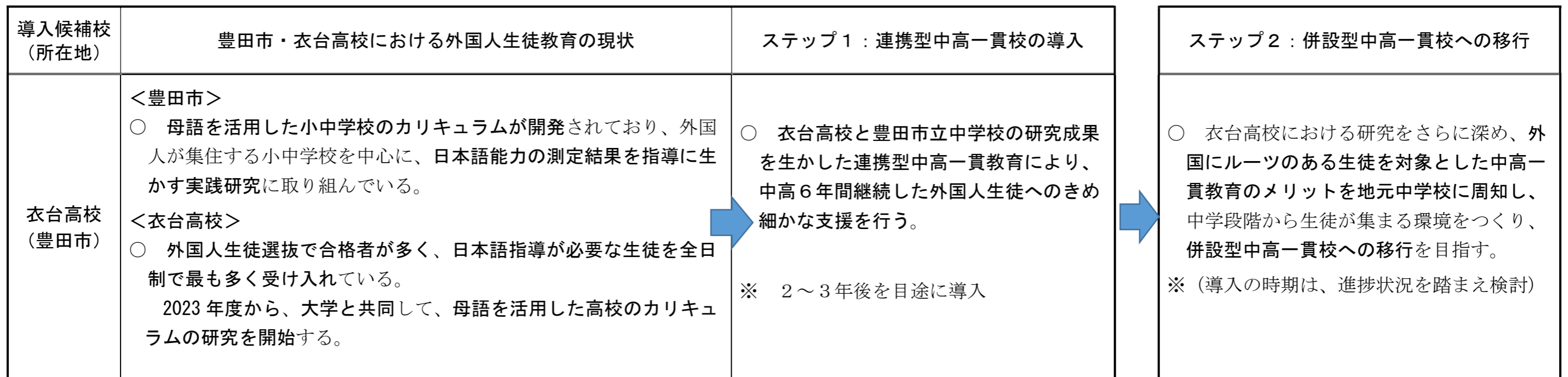


2 外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫校の導入イメージ

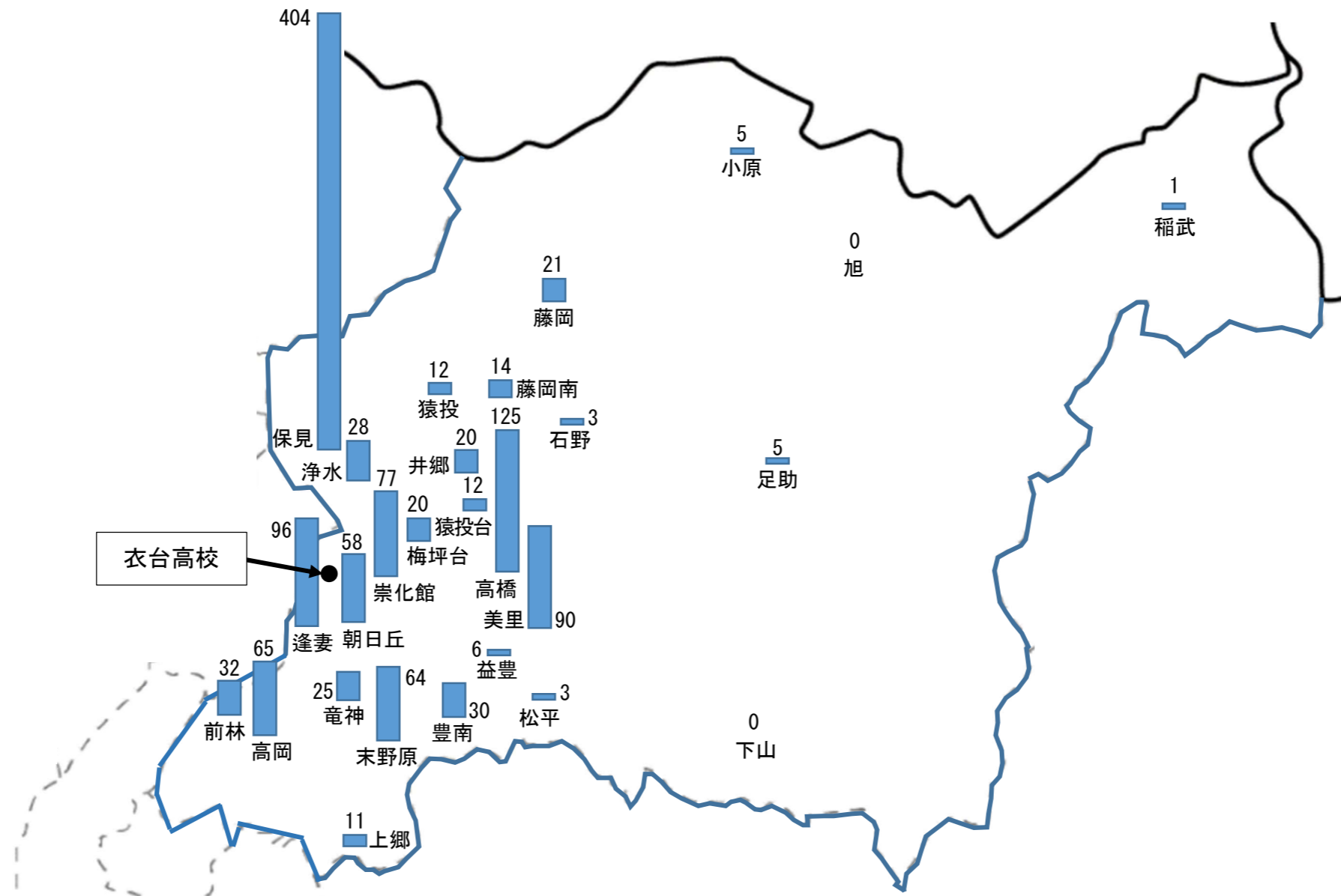
- 外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫校について、西三河地区の外国人生徒選抜実施校（衣台高校、安城南高校、豊田工科高校、知立高校）を中心に検討した。
この4校の中では、衣台高校が、外国人生徒選抜による入学者が最も多く、学校全体で日本語教育に力を入れている。
- 外国にルーツのある生徒は、日常生活に必要な日本語に加えて、教科の内容を理解するために必要な日本語の習得が課題となるケースが多い。そこで、通常の日本語指導と並行しながら、母語を活用した教科指導により学習能力を上げていく必要がある。
- 衣台高校は、2023年度から、大学と共同して、日本語と母語による指導カリキュラムの研究を開始する予定である。
衣台高校をモデル校として、カリキュラム開発を進め、その成果を踏まえて、まずは、地元市との連携型の中高一貫校を目指していく。（2～3年後を目途とする。）



(参考) 西三河地区の外国人生徒選抜実施校の合格者数 (―は未実施)

入学年度	衣台高校	安城南高校	豊田工科高校	知立高校
2019年度	9人	1人	1人	―
2020年度	12人	4人	0人	0人
2021年度	11人	9人	1人	0人
2022年度	11人	4人	0人	1人
2023年度	14人	5人	0人	3人

中学校区別外国人児童生徒数（豊田市）



- ・外国人児童生徒数は令和4年学校基本調査による。
- ・児童の居住地により複数の中学校が割り当てられている小学校の外国人児童数については、小学校が立地する中学校へ算入してある。

県立夜間中学、外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫教育の導入校の配置について

